

# 思考力・判断力・表現力を問う定期考査問題づくりのヒント<国語>

定期考査は、生徒の学習状況を把握し、学習指導の改善・充実を図る大変重要なものです。次に示す【ステップ①】～【ステップ⑤】の定期考査問題づくりの構造を踏まえ、問題づくりに取り組みましょう。

## 定期考査問題づくりの構造

【ステップ①】出題のねらいを明らかにします。

【ステップ②】期待する正答を作成します。

【ステップ③】知識・技能の内容を明らかにします。

【ステップ④】思考・判断・表現の方法を明らかにします。

【ステップ⑤】知識・技能を活用して、思考・判断・表現する場面や問い方を設定します。

単元の学習に係る学習指導要領の目標と内容を、「解説」をもとに、明確にします。

ここでは、令和3年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査問題（国語）の大問 問4を用いて **主に基礎的・基本的な内容を問う問題** と **主に思考力・判断力・表現力を問う問題** について解説します。

〔二〕 次の文章を読んで後の各問に答えよ。

（本文省略）

（重松 清『バスに乗って』による。一部改変）

問四 次の〔 〕は、本文を読んだ池田さんと中川さんと先生が、少年の心情について会話をしている場面である。

池田さん 「掃り、ひよことしたら、ちよつと遅くなるかもしれない」という会話や、「両手で押んで頼む」という行動から、河野さんのバスに乗りたいたいという少年の思いが読み取れるよ。河野さんのバスに乗るのを嫌だと思っていたのよね。

中川さん そうだね。〔ア〕かもしれないことに対する少年の不安や悲しみの思いを受け止め、回数券を使わなくていいようにしてくれた河野さんに、少年は

〔イ〕の気持ちを伝えたかったんだろうな。

池田さん そうだよ。少年は〔イ〕の気持ちを回数券に書いて伝えることも、河野さんから言われたことを守ってバスに乗ることもできて、「バスが走り去った後、空を見上げた」時は、大きな達成感を味わっていたと思うな。

中川さん そのほかにも、「何歩か進んで振り向くと、車内灯の明かりがついたバスが通りの先に小さく見えた。やがてバスは交差点をゆつくりと曲がって、消えた。」という一文に描き出されている、見えなくなるまでバスを見送る少年の姿から、〔ウ〕ことに一抹の寂しさを感じていることも読み取れるよね。

先生 描写に着目して、少年の心情をしっかりとらえることができていますね。

(3) (2) (1)

〔ア〕に入る内容を、本文中から十五字でそのまま抜き出して書け。

〔イ〕に入る適当な語句を、漢字二字で考えて書け。

〔ウ〕に入る内容を、二十五字以上、三十五字以内で考えて書け。

ただし、母、河野さんという二つの語句を必ず使うこと。

福岡県内の中学校において出題された思考力・判断力・表現力等を問う定期考査問題を義務教育課のHPで紹介しています。校内研修等を通して、授業改善を核とした学力向上の取組に活用してください。

義務教育課各種資料

検索

クリック!



※ 閲覧するにはパスワードが必要です。義務教育課が送付した各市町村教育委員会教育長宛て文書（3教義第426号令和3年4月30日）を確認してください。

	主に基礎的・基本的な内容を問う問題	主に思考力・判断力・表現力を問う問題
【ステップ①】 ねらいの 明確化	人物の行動や情景の描写に着目し、 <b>登場人物の心情を捉える</b> ことができるかどうかをみる。	人物の行動や情景の描写から登場人物の心情を捉え、 <b>捉えた心情が、文章(本文)についてまとめた別文(会話文)に表れるように、条件に従って整理して書く</b> ことができるかどうかをみる。
問題	問四(1) アに入る内容を、本文中から15字でそのまま抜き出して書け。	問四(3) ウに入る内容を、25字以上、35字以内で考えて書け。
【ステップ②】 期待する 正答の作成	母の退院の日が遠ざかってしまう	母のお見舞いのために河野さんが運転するバスに乗るのも今日で最後になる
【ステップ③】 必要な知識・ 技能の内容	「少年の不安や悲しみの思い」の理由を本文の叙述をもとに捉える <b>知識・技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常用漢字や語彙、表現の効果等についての知識をもとに、「見えなくなるまでバスを見送る少年の姿」から、「一抹の寂しさ」という少年の心情が何に対するものかを捉える<b>知識・技能</b></li> <li>本文の叙述から捉えた情報について、別文(会話文)にあてはまるように情報を編集する<b>知識・技能</b></li> <li>考えたことを整理して書く<b>知識・技能</b></li> </ul>

#### 【ステップ④】思考・判断・表現の方法

会話文に示されている二文の描写から少年が何に対して「一抹の寂しさ」を感じているのかを捉える。また、その内容と、「母、河野さん」という語句を**関連付けて**考え、会話文に合うように整理して書く。

#### 【ステップ⑤】場面や問い方の工夫

池田さん 「帰り、ひよつとしたら、ちよつと遅くなるかもしれない」という会話や、「両手で押んで頼む」という行動から、河野さんのバスに乗りたいたいという少年の思いが読み取れるよ。河野さんのバスに乗るのを嫌だと思っていたのにな。

中川さん そうだね。ア かもしれないことに対する少年の不安や悲しみの思いを受け止め、回数券を使わなくていいようにしてくれた河野さんに、少年はイの気持ちを伝えたくっただろうな。

池田さん そうだね。少年はイの気持ちを回数券に書いて伝えることも、河野さんと言われたことを守ってバスに乗ることもできて、バスが走り去った後、空を見上げた。時は、大きな達成感を味わっていたと思うな。

中川さん そのほかにも、「何歩か進んで振り向くと、車内灯の明かりがいたバスが通りの先に小さく見えた。やがてバスは交差点をゆっくりと曲がって、消えた」という二文に描き出されている、見えなくなるまでバスを見送る少年の姿から、ウことに一抹の寂しさを感じているとも読み取れるよね。

先生 描写に着目して、少年の心情をしっかりとらえることができているね。

#### 「池田さんと中川さんと先生が、少年の心情について会話している場面を設定」することで

- 本文全体の少年の言動や心情の変化を踏まえて、問うことができます。
- 本文とは別の資料を提示できるため、複数の情報を関連付けて考える力を問うことができます。
- 生徒は、前後の文脈をヒントにして答えることができます。
- 生徒にとって、授業内容を想起するきっかけとなり、考えを表現しやすくなります。

#### 「用いる語句を指定」することで

- 登場人物の心情を正しく捉えることができているかを問うことができます。
- 生徒にとって、考えを整理するヒントになります。

#### 「字数を制限」することで

- 情報を編集し、伝えたいことを整理して書く力を問うことができます。

ウに入る内容を、二十五字以上、三十五字以内で考えて書け。ただし、母、河野さんという二つの語句を必ず使うこと。